

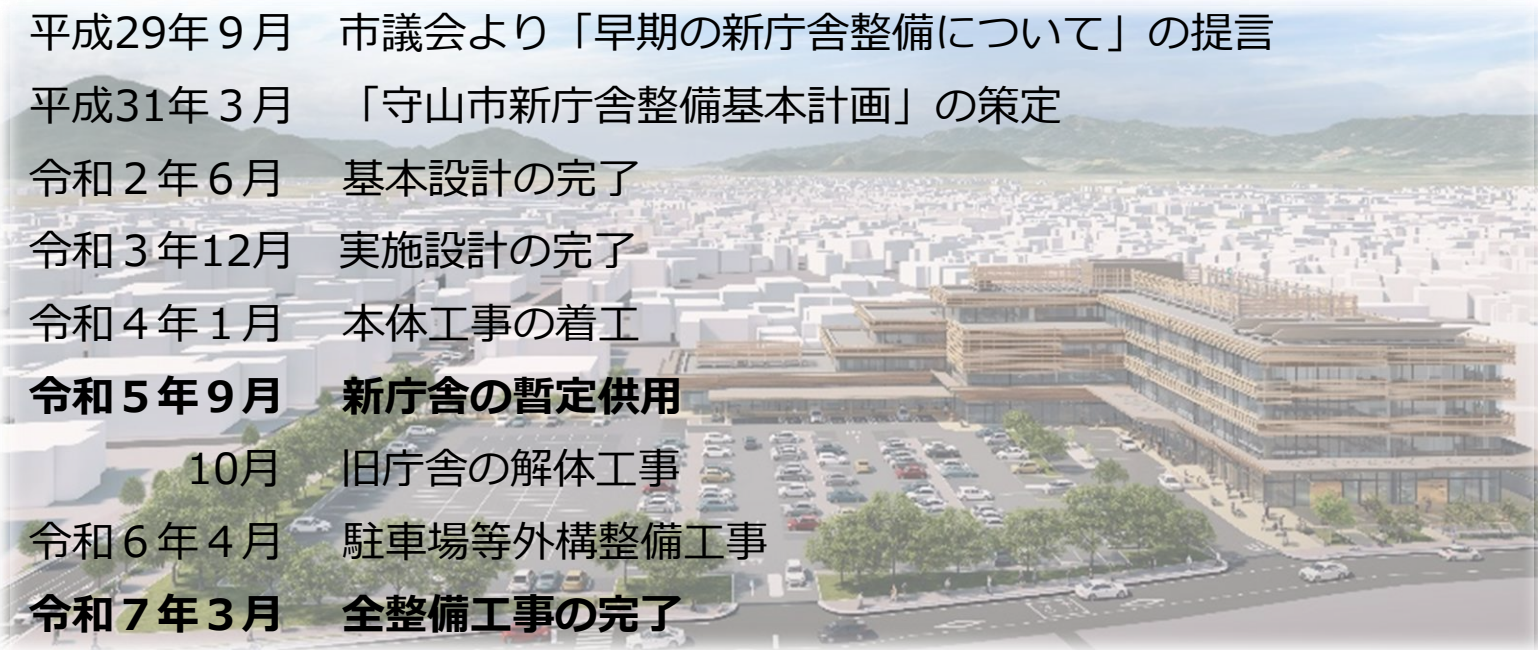
Ⅷ コロナへの万全な対応と 信頼される市政運営

1 新庁舎整備の推進

(1) 工事の概要

新庁舎は令和4年1月14日に本体工事に着工しました！！

(1) これまでの経緯と今後の整備スケジュール



平成29年9月	市議会より「早期の新庁舎整備について」の提言
平成31年3月	「守山市新庁舎整備基本計画」の策定
令和2年6月	基本設計の完了
令和3年12月	実施設計の完了
令和4年1月	本体工事の着工
令和5年9月	新庁舎の暫定供用
10月	旧庁舎の解体工事
令和6年4月	駐車場等外構整備工事
令和7年3月	全整備工事の完了

建築概要

構造：鉄骨造

階数：4階建

延床面積：約12,990㎡（庇除く）

概算事業費

ハード事業計 約66億円

ソフト事業計 約13億円

事業費計 約79億円

担当：庁舎整備推進室

（２）新庁舎の特徴①

① “ワンストップ”で誰もが利用しやすい庁舎

- すこやかセンターと現庁舎で分散していた福祉部門を集約化します。
- 市民の皆さまの利用の多い窓口を１・２階に集約し、ワンストップでサービスを提供します。
- 親身に寄り添った相談支援ができるプライバシーに配慮した相談室を20室程度設けます。
- ユニバーサルデザインを積極的に採用し、誰もが使いやすい庁舎を目指します。

窓口機能

1 階

市民課	長寿政策課
国保年金課	障害福祉課
税務課	地域包括支援センター
納税課	生活支援相談課 など

2 階

すこやか生活課
こども家庭相談課
保育幼稚園課
学校教育課
社会教育・文化振興課 など

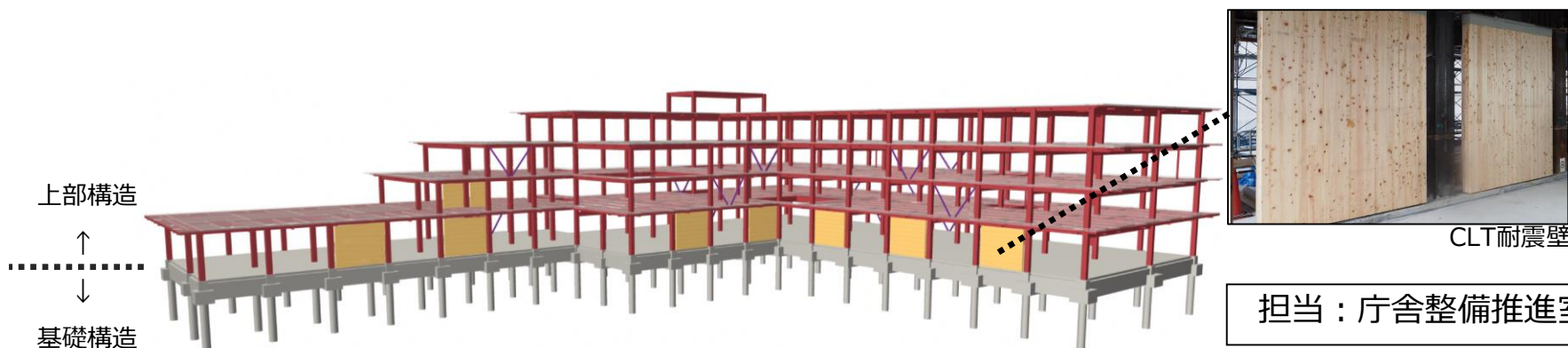
(2) 新庁舎の特徴②

② 災害に強く、市民の安全・安心を支える庁舎

- 災害時に現庁舎と防災センターで分散していた防災機能を一体化し集約します。
- CLT+鉄骨ハイブリッド構造により建築基準法に定める1.5倍のさらに15%割増（1.725倍）の構造強度を有し、高い耐震性能を確保します。
- 空調熱源は電気・都市ガス・LPGを組合せ、太陽光発電とコージェネレーションシステムによる発電を行い、災害時にも機能を維持できる強靱性を持ち合わせた庁舎とします。

また、発電した電力は市民の皆さまの携帯電話等の充電にも利用できます。

- 新庁舎は災害発生時に市民の安全・安心を支える行政機能を維持するとともに、中枢拠点としての役割を果たします。



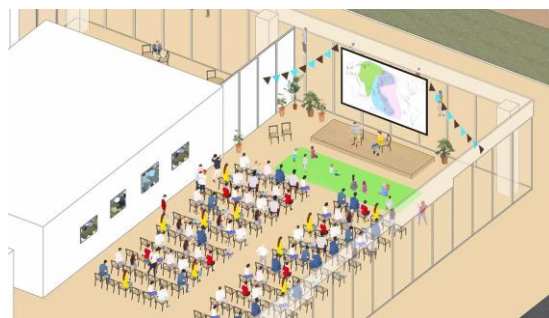
（２）新庁舎の特徴③

③ 市民に開かれた庁舎

- 1階には多目的ホールやカフェを配置し、さらに街道広場を隣接して設け、窓口サービスのために庁舎を利用するだけでなく、多様な人との交流のために利用できる庁舎を目指します。
- 1階・多目的ホールや2階・防災対策室、市議会の議場、委員会室などは、市民の皆さまへ開放します。



多目的ホールの利用イメージ（開庁時）



多目的ホールの利用イメージ（閉庁時）

カフェ



街道広場

担当：庁舎整備推進室

(2) 新庁舎の特徴④

④ 機能的でコンパクトな庁舎

- 徹底したICTの活用により、待たずに、書かずに、行かずに、手続きを行える、効率的かつ効果的な行政運営を行います。
- エレベーターのボタンを非接触化とするなど感染症への対策を行います。
- 利用する全ての人が快適で健康的に利用することができる新庁舎とし、滋賀県内初の「CASBEEウェルネスオフィス」のSランクを達成します。



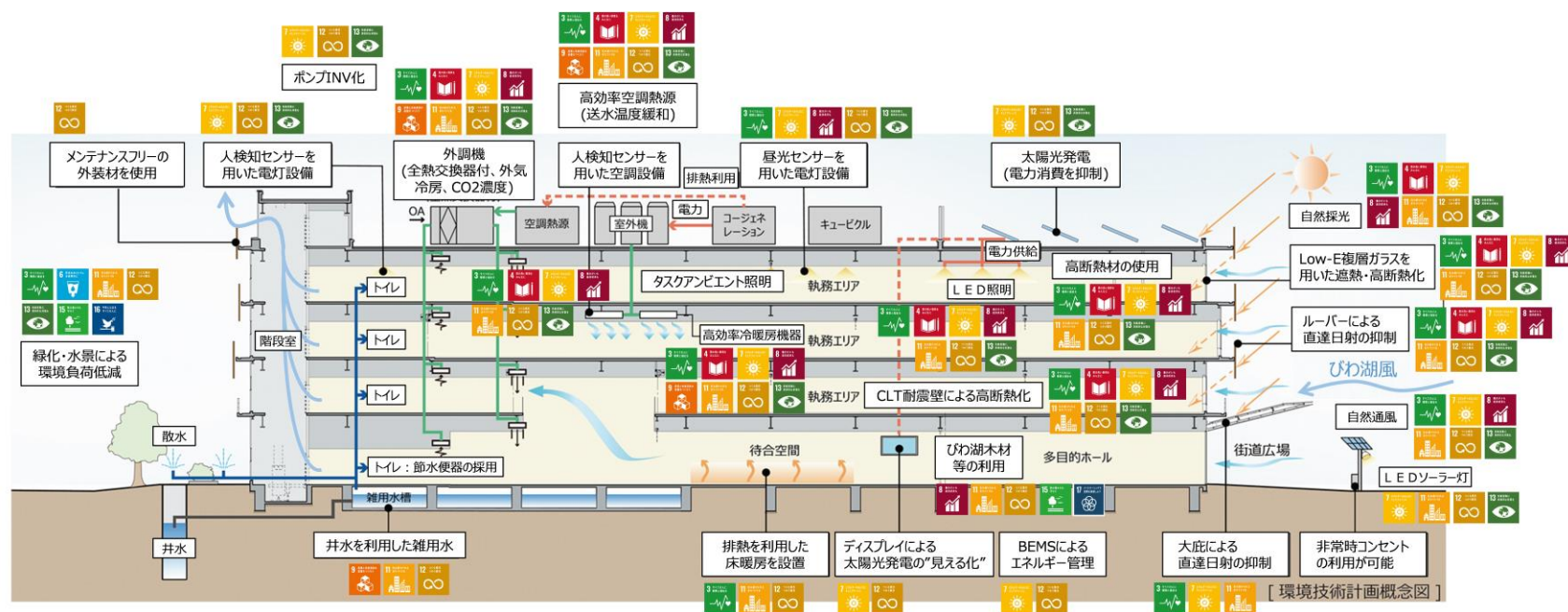
1階 なかの街道

担当：庁舎整備推進室

(2) 新庁舎の特徴⑤

⑤ 環境と未来の世代にやさしい庁舎

- 自然エネルギーの積極的活用と省CO2技術の導入により、一次エネルギー消費量を50%以上削減する「ZEB ready」を達成します。
- 県内産木材である「びわ湖材」を使用し、地産地消や省CO2に貢献します。
- 周辺環境に溶け込む圧迫感のない木目調の温かい庁舎となります。



担当：庁舎整備推進室



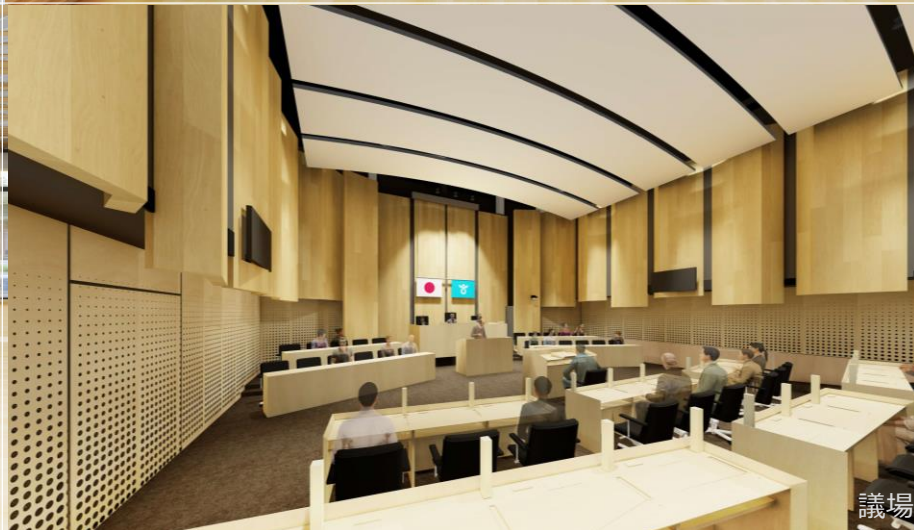
車寄せ



メインエントランス



多目的ホール



議場

担当：庁舎整備推進室

2 DXの推進①



令和5年9月新庁舎暫定供用開始に向け、 DX推進を徹底的に取り組む

守山市版DX推進方針に基づき、“新庁舎整備”とあわせてICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、各部署でのDX（業務プロセスの再構築、など）に取り組むとともに、オンライン化や標準化など“国重点取組み”を着実に推進する。

「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」

庁内DX推進体制の整備・新庁舎整備

- ①CIO補佐・DX推進支援業務
- ②DX推進の基礎となる新庁舎情報ネットワーク設計

まちのDX

- ①中小企業等デジタル化推進補助金
市内経済結成化のため、デジタル技術を活用した販路開拓や、事業効率化につながる取組み等を補助

市民のDX

- ①市民課窓口のスマート化（先行実施）
- ②行政手続きオンライン化の推進 ※ぴったりサービス
- ③ホームページのリニューアル（令和5年9月予定）



行政のDX

- ①自治体情報システム標準化、共通化に向けた調査業務
- ②業務プロセスの再構築、ペーパーレスの徹底
 - （1）文書管理・電子決裁システムの導入
 - （2）人材育成支援システムの導入
- ③各行政分野のデジタル化
 - （1）乳幼児健康カードの電子化
 - （2）外遊びマップ・市内ウォーキングマップ



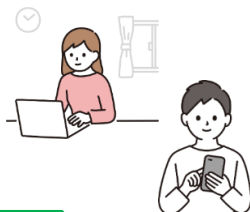
2 DXの推進②

市民のDX

待たない窓口

① PC・スマホで、待たない

自宅や出先で
混雑状況確認



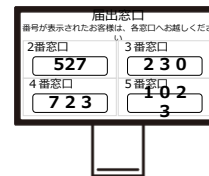
② バックオフィス連携で、待たない

お客さまも職員も
ワンストップ



③ ICT機器で、待ち時間のイライラ解消

大きなディスプレイ表示、
複数発券機、呼び出し通知



書かない窓口

① まったく、書かない

事前に、
スマホで入力



② なるべく、書かない

来庁しても、
IC・OCR読込、
タブレット入力、など



③ 2度目は、書かない

別の申請や、別部署でも、
1度目の情報を活用

行かない窓口

① 証明書交付・申請等に、行かない

コンビニ交付、
オンライン申請・決済、など

② 各種問い合わせにも、行かない

AIチャットボット、
FAQ・コールセンター、など

③ 閲覧・調べ物にも、行かない

見やすいホームページ、
オープンデータ、
公開型GIS、など